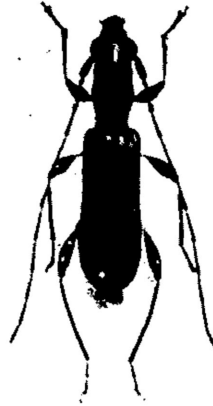


9. タイワンチビカミキリ
Sybra pascoei ishigakii BREUNING et OHBA-YASHI, 7exs.
10. ハヤシサビカミキリ
Ropica hayashii BREUNING, 6exs.
11. タテスジドウボソカミキリ
Pothyne albolineata MATSUSHITA, 2exs.
12. イシガキノロオビサビカミキリ
Pterolophia kaleea (BATES), 1ex.
13. コゲチャサビカミキリ
Mimectatina meridiana (MATSUSHITA), 1ex.
- 編集部注) 4. のイシガキゴマフカミキリは *M. yonaguni subkonoi* BREUNING のことである (本誌 R19~23 参照).
(㊥734 広島市皆実町1-18-40)

1) 中村俊彦(1975): 伊豆御蔵島産の興味あるカミキリ 2種, 甲虫ニュース Nos. 29・30, p.7

- 2) 筆者の検した本邦産のツマグロアメイロは御蔵島産2頭, 三宅島産2頭, 沖縄本島産20数頭。
- 3) 筆者の調べた範囲では黒35: 橙7であった。
(㊥110 台東区台東 2-29-6)



三宅島でも採集された
ツマグロアメイロカミキリ

藤田 宏

先に, 中村俊彦氏¹⁾より伊豆諸島御蔵島におけるツマグロアメイロカミキリ *Pseudiphra apicale* (SCHWARZER) の採集例が発表されたが, 筆者は三宅島にて本種を採集しているので報告しておく。

- 1♀, 三宅島大路池, 29. VII. 1975, 熊谷優一採集
1♀, 同上, 30. VII. 1975, 藤田宏採集
2頭共, 大路池周辺のスイーピングによる。

三宅島で採集された個体は沖縄本島産のものと比較して, 特に区別するほどの差異はなく同じ種と思われる。また, 台湾産の本種とも比較したが顕著な差は見られなかった。ただ, 台湾産の個体においては, 上翅基部²⁾の明るい橙色の部分³⁾が, 橙色から黒化したものまでさまざまな色彩変異が見られるのに対し, 今まで本邦から得られている本種の上翅はすべて橙色の型ばかりで, 黒化したもの, あるいは黒化の傾向を示す個体は1頭もなかった²⁾。台湾においてはむしろ黒化型の方が多く³⁾, また, 他の日本産の *Pseudiphra*, -*P. bicolor*, *P. obscura*, *P. sp.* (八重山諸島産) 等が同一産地内で相当色彩変異に富むのに対し, 本邦産の本種のみが色彩的にまったく安定しているのは面白い。今後, 本邦から黒化型のツマグロアメイロが採集されるかどうかは興味深いところである。

なお, 採集地^{たいりゅう}の大路池付近は, 植生の貧弱な三宅島にあって新瀨池付近と同じくシイのよく繁った原生林であるためか, キマダラ・トラフソバネ・ミクラチビなど島内において同地でなければ得にくい種も多く, これからの調査が期待される。

編集後記

○今号より ELYTRA は“第2化?”に入ったのですが, いかがでしょうか?……………御意見・御批判をお待ちしております。

不慣れたため, この号の編集には3ヵ月以上もかかってしまい, 会員諸兄には大変御迷惑をおかけしました。しかし, 後続の「さやばね No.2」および「ELYTRA Vol.4 No.1」の原稿はすでに全部揃っており, あとは編集業務と印刷工程を経るのみですので, 6月までには2冊続けて発行し, 今までの遅れを一挙にとりもどすことができるのです。(ホントに) (藤田 宏)

ELYTRA Vol. 3, Nos. 1/2

昭和51年5月20日 印刷
昭和51年5月25日 発行

編集者 高 桑 正 敏
藤 田 宏
発行者 草 間 慶 一
発行所 日本鞘翅目学会

Japanese Society
of Coleopterology
東京都台東区東上野4-26-8
福田惣一方 (㊥110)

c/o, FUKUDA, 4-26-8,
Higashi-Ueno, Taitō-ku,
Tōkyō-city, Japan
印刷 (株)大和印刷